

小林 秀彦

(日本共産党)

保育料と給食費の負担軽減

質 子育て世代の家族は、子供の養育費や教育費の負担に追われている。市として支援の拡大のため保育料の負担の軽減、また、給食費の負担を半額等とするなど検討できないか。

答 4月から、保育所の保育料の算定基準が変更となるが、保育料を上げない経過措置を講じ、負担が増すことのないようにしたい。また、認定こども園の幼稚園部分に入園する生活保護受給世帯等を対象に、保育所に入所する低所得者世帯との負担バランスを考慮し、給食費を全額補助したいと考えている。

中学校までの医療費無料と給食費への助成

質 中学校卒業までの医療費の無料化が全国、全県の自治体にまで広がっている。ぜひ検討できないか。合わせて小・中学校の給食費への助成もできないか。

答 現行制度を中学校卒業まで拡充する場合、多額の一般財源が必要であり、現時点の実施は困難と考えているが、27年度に策定する地方版総合戦略の中で検討していきたい。学校給食費の保護者負担は、26年度で小・中学生合わせて約2億円であり、市の財政負担が大きいことから、給食費の助成は困難と考えている。

その他の質問事項

- 介護保険
- 大型七夕と観光拠点施設

議会運営委員会行政視察報告

◆視察月日 2月21日～22日

◆視察市 三重県名張市

◆視察項目

- ・議会改革の取り組みについて
- ・議会運営等について

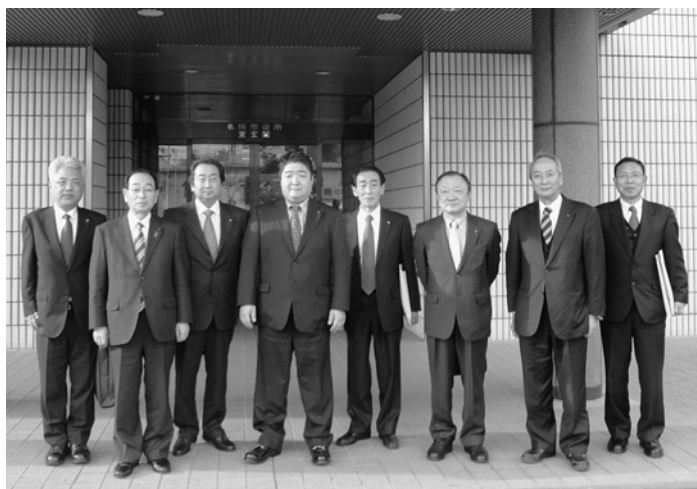
名張市議会の議員定数20人のうち、女性議員が6人で三重県下でもトップである。また、名張市子ども条例、名張市ばりばり食育条例、伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例の3つの議会提案条例があり、いずれも順調に推進されてきている。今後も議会提案条例の検討を行っていききたいとのことであった。

議会改革の主なものとして、一問一答方式の導入、閉会中の常任委員会での継続審査の議決、名張市議会の議決すべき事件を定める条例制定、公務活動費のホームページでの公開、議員報酬の自主的な5%削減、表決が分かれた案件に対する各議員の賛否状況の市議会だよりへの掲載、本会議等に出席した際の費用弁償の廃止、正副議長選挙の立候補制、本会議のインターネット録画配信の導入、執行部の反問権の導入等が挙げられた。

議会改革の検討経過については、平成24年8月から議会改革検討委員会を設置し、平成25年12月

に議員9名からなる議会改革推進会議を設置して、全11回にわたり推進会議を開催して、議長へ報告書を提出した。

議会改革の一つであるインターネットによる録画配信の導入については、導入前は、一般質問の3日間のみ地元ケーブルテレビによる生中継が行われていたが、開かれた議会、市民への情報発信といった議会改革の観点から、平成25年12月定例会より実施している。



名張市役所にて